

# ミニレクチャー「5分でわかるヒッグス粒子」

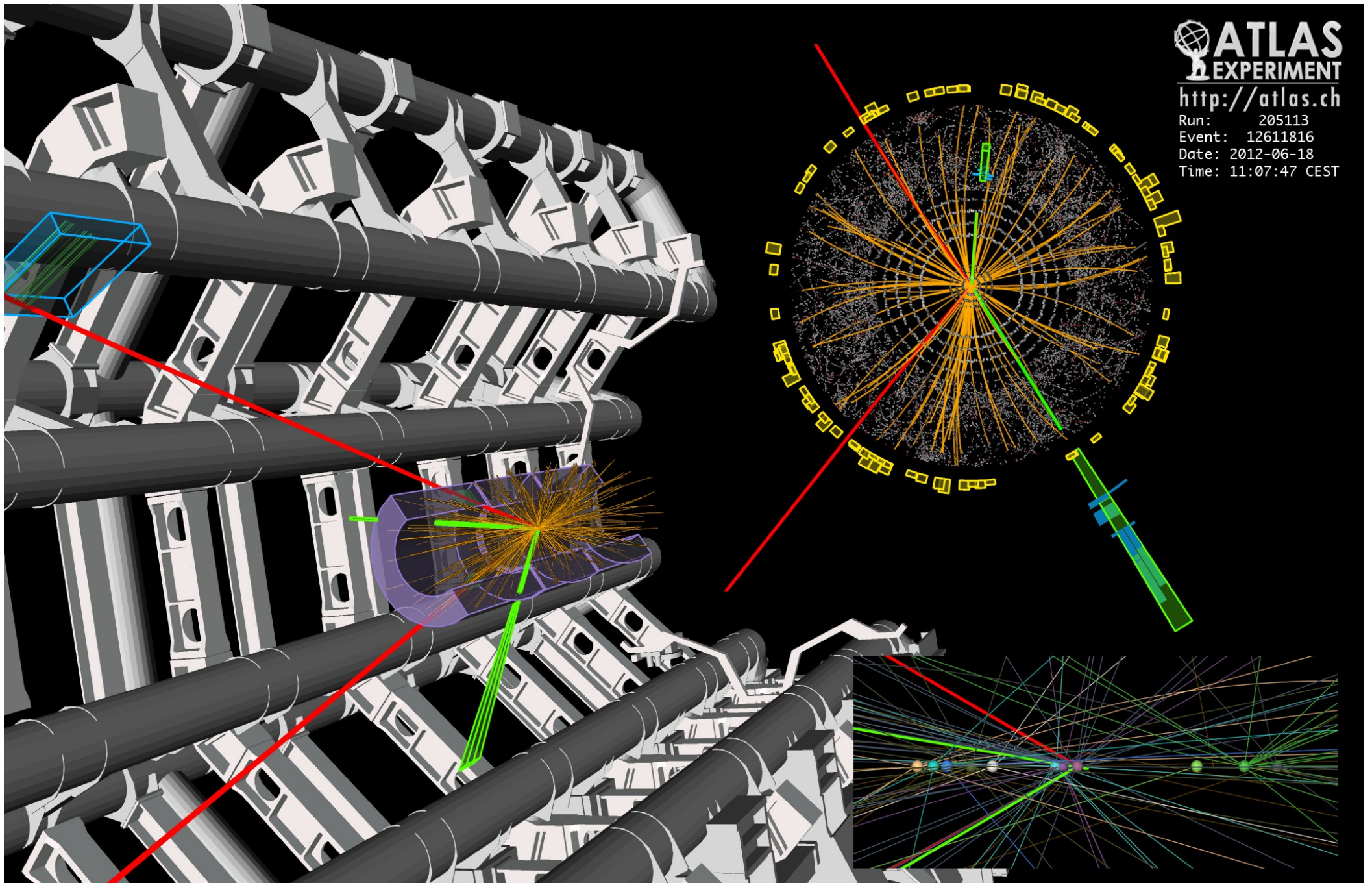
## 日程

日時:平成25年11月9日(土) 12:30~12:45/14:00~14:15(各回の内容は同じです)

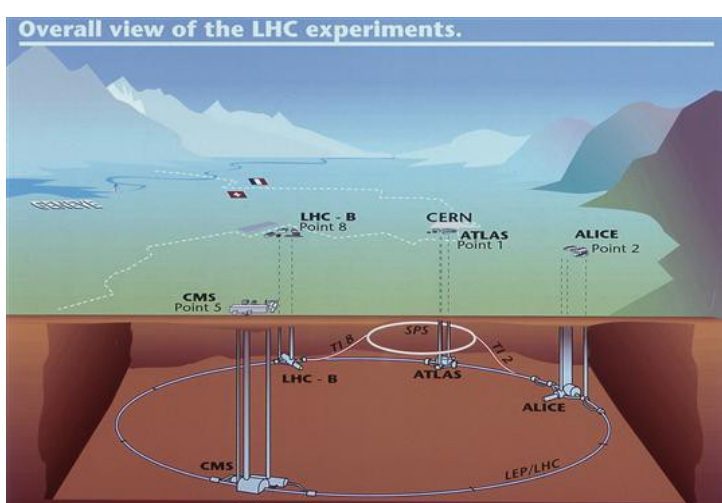
場所:京都教育大学 附属図書館 ブラウジングコーナー、リフレッシュラウンジ

## 内容

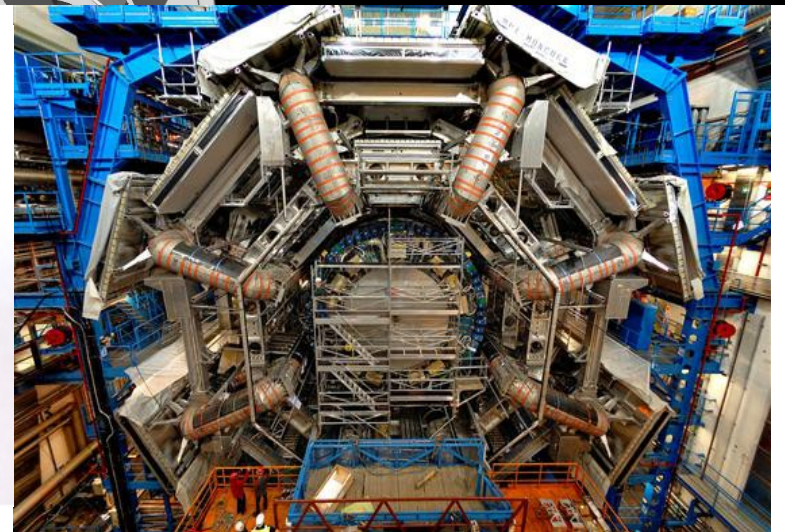
- 京都教育大学教育学研究科学生(理科教育専修2年次生)が、ノーベル賞で話題となったヒッグス粒子とは何なのかについてわかりやすく説明します。
- 本学の基礎物理学研究室が参加しているATLASグループの研究活動について紹介します。
- 解説者の本学学生は、ヒッグス粒子を発見したATLAS検知器のあるジュネーブの研究所CERN(セルン)に滞在し、プロジェクトの一端に加わった経験があります。



自発対称性の破れのイメージ



LHC(Large Hadron Collider):  
スイスのCERN研究所にある、  
陽子-陽子衝突型加速器。  
1周27kmにもなる巨大なリング。



ATLAS 実験:  
LHC上の衝突ポイントの1つにある  
「ATLAS検出器」で行われる実験。  
高さが22mにもおよぶ巨大な検出器  
で、未知なる現象をとらえる。